

1. 本県周辺海域の概況(図1, 10/6現在)

- ・黒潮の流型は、N型で推移しています。黒潮の本流は、犬吠埼にやや接岸した状態で本県沖合を北東に流去しています。
- ・親潮第一分枝の先端位置は、北緯40° 00′ 東経146° 30′ 付近(岩手県はるか沖)にあります。親潮の面積は平年より小さくなっています。また、東北海域の海面水温は平年より低めで推移しています(気象庁9/30発表)。
- ・親潮系冷水が宮城県沖～福島県沖を南下しています。

2. 海洋観測結果(10/2:調査船「いばらき丸」)

- ・荒天等により、会瀬・大洗定線141° 45′ E以东及び鹿島・犬吠埼定線の全点が欠測となりました。
- ・水平水温図(水温, 前月差, 平年偏差)を図2～9に示しました。また、各定線の鉛直水温図を図10～11に、会瀬・大洗定線の鉛直水温図(前月差, 平年偏差)を図12～15に示しました。海面水温は、会瀬沖で19.2℃～24.3℃、大洗沖で20.5℃～23.9℃でした(①, 図2)。
- ・前月と比べると、表層では全体的に降温した一方、50m～200m深では全体的に昇温しています(②)。
- ・平年と比べると、会瀬定線沖合では平年よりやや高めとなりましたが、大洗定線の表層及び会瀬・大洗定線の50m～200m深の全域で低め傾向でした(③)。
- ・潮流の特徴として、今回の観測では黒潮の強い流れは見られませんでした。また、本県沿岸域全域で、強い逆潮(0.4～1.2ノット)が観測されました。会瀬・大洗定線の沖合域では、やや強い込潮が観測されています。

3. 今後1か月の見通し

- ・黒潮流型はN型で推移するとみられ、犬吠埼沖を北東に流去する状況がしばらく続くでしょう。
- ・親潮の面積は平年並か平年より小さめで推移する見通しで、親潮第一分枝の先端は北緯39° 00′ 東経147° 00′ (岩手県はるか沖)に位置するとみられます。
- ・水温を平年と比べると、茨城県沿岸・沖合とも広い範囲・広い層で「平年並～やや低め」で推移するでしょう。ただし、親潮系冷水の急激な南下や冷水域の形成があった場合、水温は大きく低下するでしょう。

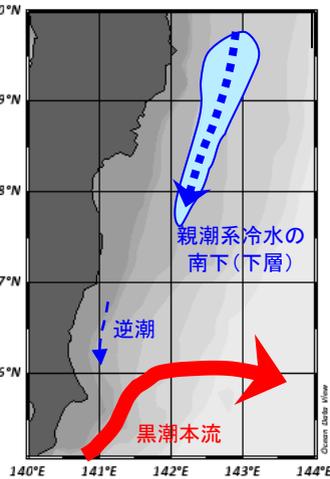


図1 海況の概要
(10月6日現在)

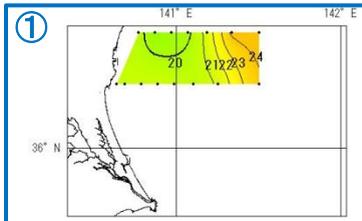


図2 海面水温(°C)

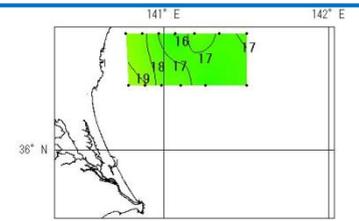


図3 50m深水温(°C)

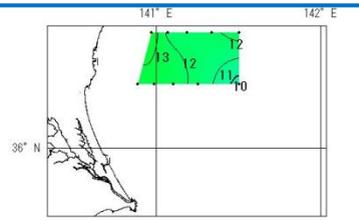


図4 100m深水温(°C)



図5 200m深水温(°C)

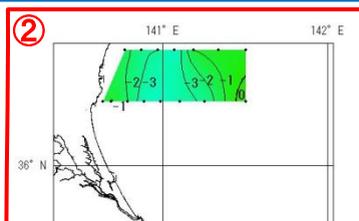


図6 海面水温前月差(°C)



図7 100m深水温前月差(°C)

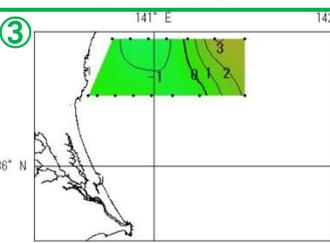


図8 海面水温平年偏差(°C)

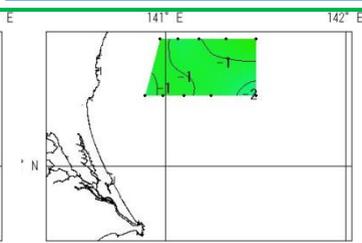


図9 100m深水温平年偏差(°C)

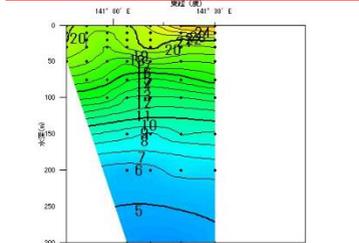


図10 会瀬沖鉛直水温(°C)

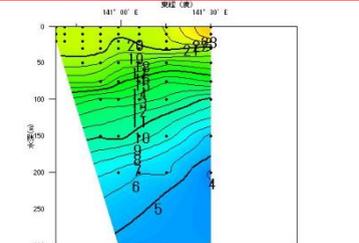


図11 大洗沖鉛直水温(°C)

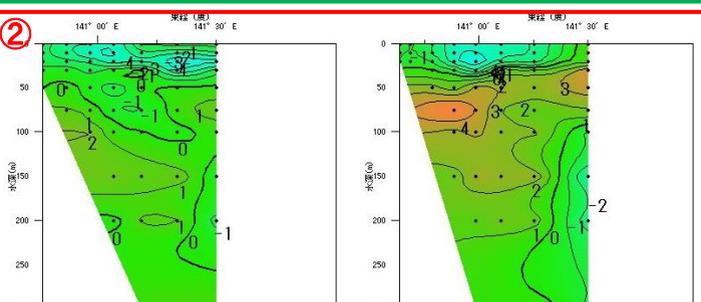


図12 会瀬沖鉛直水温前月差(°C)

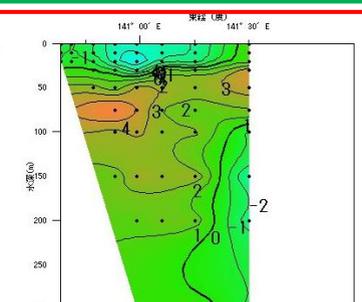


図13 大洗沖鉛直水温前月差(°C)

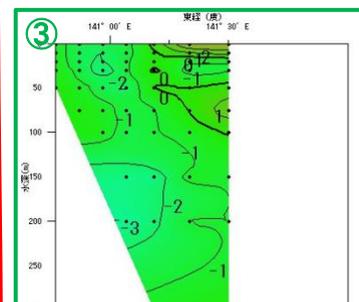


図14 会瀬沖鉛直水温平年偏差(°C)

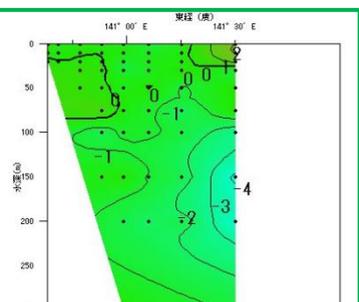


図15 大洗沖鉛直水温平年偏差(°C)